

【第1号】平成29年度 事業報告について

平成29年度事業報告

1 総会の開催

(1) 総会

大分県医療ロボット・機器産業協議会の事業計画等を会員へ報告するため総会を開催した。

開催日：平成29年6月6日（火） 15：00～15：30

場 所：大分オアシスタワーホテル

2 医療関連産業新規参入促進セミナー等

(1) 医療関連産業新規参入促進セミナー

医療機器産業への新規参入事例や法規制に係る人材育成のため、医療関連産業参入促進セミナーを開催した。

●医療関連産業新規参入促進セミナー（第1回）

臨床ニーズに基づく医療関連機器開発やISO13485の活用事例紹介、会員企業による参入事例についてセミナーを開催した。

開催日：平成29年6月6日（火） 15：00～17：30

場 所：大分オアシスタワーホテル

参加者：129名

概 要：講演Ⅰ 「医療現場のニーズに基づいた医療機器、
看護師向け製品の開発」
株式会社メディカルラボパートナーズ
代表取締役社長 清水 美雪 氏
講演Ⅱ 「国内外の医療機器規制で求められるISO 13485
～取得事例を交えて～」
一般財団法人日本品質保証機構
安全電磁センター 大野 康介 氏
講演Ⅲ 「自ら移動する経験を子供たちに！」
歩行器の電動化装置の開発」
株式会社ブライテック
技術開発部 部長 相原 茂 氏

●看護とものづくり連携セミナー（第2回）

看護関連機器開発に向けた機運醸成のため、看護機器の開発事例紹介や医療現場の機器開発ニーズ等に関するセミナーを開催した。

開催日：平成29年8月31日（木） 14：30～16：30

場 所：ホルトホール大分 201・202会議室

参加者：55名

概 要：講演Ⅰ 「看護・ものづくり・デザインの融合」

株式会社メディディア医療デザイン研究所

代表取締役 山本 典子 氏

講演Ⅱ 「看護師との協働による製品開発～医療用スタッキングカート、後方連結型点滴スタンドができるまで～」
泉株式会社 樹脂事業部 東京樹脂課

課長 阿部 晃之 氏

講演Ⅲ 「機器の力で 患者さんに「生きがい」を
看護師に「やりがい」を」
社会福祉法人別府発達医療センター

看護部長 中尾 さつき 氏

●医療機器開発関連トップセミナー（第3回）

看護関連機器開発に向けた機運醸成のため、看護機器の開発事例紹介や医療現場の機器開発ニーズ等に関するセミナーを開催した。

開催日：平成29年11月14日（火）14：30～17：30

場 所：ホルトホール大分 408会議室

参加者：55名

概 要：講演Ⅰ 「経済産業省における医療機器産業政策について」
経済産業省商務情報政策局医療・福祉機器産業室

室長 宮原 光穂 氏

講演Ⅱ 「医療機器の国際展開とリモートメンテナンスについて」
東京電気大学 研究推進社会連携センター

特別専任教授 大嶋 清治 氏

講演Ⅲ 「生体センサーの研究開発とウェアラブル化への課題」
シンプレクスクオンタム株式会社

エグゼクティブスーパーバイザー 遠藤 寿 氏

ディーオーエンタープライズ株式会社

取締役会長 原 正次 氏

●医療関連産業新規参入促進セミナー（第4回）

東九州メディカルバレー構想推進大会の開催に併せて、参入促進セミナーを開催した。

（2）展示・商談会

東九州メディカルバレー構想の情報発信や会員企業の新製品の販路開拓のため、宮崎県・HAMIQ等と連携し、展示会・商談会に参加した。

【HAMIQ等との連携事業】

○第44回国際福祉機器展 H.C.R2017

会期：平成29年9月27日（水）～29日（金）

場所：東京国際展示場「東京ビッグサイト」東展示ホール
（東京都江東区有明3-11-1）

出展企業：(株)AKシステム、(有)大分サーバー、(株)ブライテック

○医療機器メーカーとの技術展示・マッチング会in本郷

会期：平成29年10月26日(木)

場所：医科器械会館(東京都文京区本郷3丁目39-15)

出展企業：(株)AKシステム、シェルエレクトロニクス(株)、
ヘルメット潜水(株)

【単独展示】

○第35回大分県病院学会

会期：平成29年11月19日(日)

場所：別府国際コンベンションセンター コンベンションホール

参加企業：(株)AKシステム、(有)ビューティフルライフ、
ヘルメット潜水(株)

(3) 東九州メディカルバレー構想推進大会

東九州メディカルバレー構想の具体化を図ることにより、産業の集積と地域の活性化を一層推進するため、東九州メディカルバレー構想推進会議・大分大学と共催で構想推進大会を開催した。

開催日：平成30年1月22日(月) 13:30~18:00

場 所：レンブラントホテル大分

参加者：213名

概 要：第1部 基調講演

「旭化成メディカルにおける医療機器産業戦略
～昨日まで世界になかったものを～」

旭化成メディカル株式会社

代表取締役社長 姫野 毅 氏

「医療機器・ロボット介護機器開発に関わるAMEDの支援について」

国立研究開発法人日本医療研究開発機構

産学連携部 上席調査役 扇谷 悟 氏

第2部 医療機器産業新規参入促進セミナー

「"ゼロ"からの医療機器開発 ～成功の秘訣とは～」

ケイ・アンド・ケイジャパン株式会社

常務取締役 久保田 慎 氏

「夢をかなえるために ～ロボット事業への挑戦～」

マッスル株式会社 代表取締役社長 玉井 博文 氏

3 医療・福祉機器等機器開発ワーキング

(1) ニーズ探索会

会員企業の新規の機器開発案件を探するため、医療機関と連携してニーズ探索会を実施した。

- ・大分大学医療機器ニーズ探索交流会（第1回）
開催日：平成29年6月29日（木） 13:00～19:00
場 所：大分大学医学部附属病院 臨床大講義室
参加者：133名
概 要：医療現場等からのニーズ発表（循環器内科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、ME機器センター、看護部）、
病院施設見学会・個別相談会、
意見交換・名刺交換会

- ・大分大学医療機器ニーズ探索交流会（第2回）
開催日：平成29年12月14日（木） 13:30～19:30
場 所：大分大学医学部附属病院 臨床大講義室
参加者：121名
概 要：医療現場等からのニーズ発表（リハビリテーション部、呼吸器内科、腎臓外科・泌尿器科）、
病院施設見学会・個別相談会・企業プレゼン会、
意見交換・名刺交換会

- ・一般社団法人九州先端リハビリテーション・ケアクラスター推進機構
ニーズ・シーズ意見交換会
開催日：平成30年2月16日（金） 13:30～16:40
場 所：大分県消費生活・男女共同参画プラザ アイネス
参加者：38名
概 要：前回の意見交換会成果報告（大分大学今戸教授ほか）
県内医療関係団体等からのニーズ発表、
特別講演（名古屋市立大学國本教授）、意見交換・名刺交換

- ・介護・福祉ニーズ探索交流会in太陽の家
開催日：平成30年3月2日（金） 14:00～17:00
場 所：社会福祉法人太陽の家 さくら・ひまわりホール
参加者：80名
概 要：介護・福祉現場からのニーズ発表、太陽の家施設紹介、
意見交換・名刺交換

(2) 医療関連機器開発ビジネスマッチング会

九州ヘルスケア産業推進協議会、福岡県・宮崎県との連携の下、大分大学医療機器ニーズ探索交流会の開催に併せて、医療機器メーカーと県内も

のづくり企業とのマッチング会を開催した。

- ・第1回医療関連機器開発ビジネスマッチング会

開催日：平成29年6月30日（金） 9：30～15：00

場 所：レンブラントホテル大分 2階 二豊の間

参加者：95名（うち医療機器メーカー16社）

概 要：医療機器メーカーからの講演（(株)フジタ医科器械、(株)日立製作所）、医療機器メーカーと参加企業の商談会

- ・第2回医療関連機器開発ビジネスマッチング会

開催日：平成29年12月15日（金） 10：00～15：00

場 所：大分銀行宗麟館 5階 多目的ホール ほか

参加者：68名（うち医療機器メーカー13社）

概 要：医療機器メーカー&ディーラーからの講演（(株)河野製作所、(株)アステム）、医療機器メーカーと参加企業の商談会

（3）臨床ニーズブラッシュアップ会議

医療機関等から発信されたニーズについて医療機器開発の有識者で構成される臨床ニーズブラッシュアップ会議を組織し、ニーズの妥当性や市場性等の検証・評価を実施した。

（4）医療機器規格等取得支援補助事業

医療・福祉機器の開発を促進するため、会員企業による医療機器メーカーへの部品供給等に条件となるISO13485、CEマーキング等の認証申請に向けた活動を支援した。

（5）機器開発ワーキンググループ

開発ニーズと会員企業とのマッチング率を向上させるため、ニーズを元に機器開発を行うワーキンググループの活動を支援し、必要な費用に対する助成を行った。

○支援グループ数：12グループ

（6）医療機器開発人材育成支援事業

県内での医療機器開発を促進するため、医療機器の研究開発や事業化、法規制等に関する研修会やセミナー等の開催や運営を支援した。

4 研究開発補助事業

(1) 臨床ニーズ試作品開発補助事業

事業化有望な臨床ニーズについて研究開発や事業化を目指す会員企業が行う医療関連機器の試作品開発に要する経費に対し助成を行った。

No.	企業名	テーマ名
1	エステイクテクノロジー(株)	嚥下機能評価・トレーニング支援システムの開発
2	(株)デンケン	麻痺症状やADL向上を目的とした家庭用電気刺激装置の試作開発
3	中央発条工業(株)	装着が容易にでき、患者が一人でもリハビリ可能な手指伸展スプリントの開発
4	シェルエレクトロニクス(株)	エコーガイド下穿刺作業アシストシステム試作品開発
5	ヘルメット潜水(株)	大腿骨頸部骨折を予防するデザイン性の良い衣装の試作品開発

(2) 医療関連機器研究開発補助事業

大学、医療機関及び県外企業等と連携した会員企業の新たな医療関連機器等の研究開発に要する経費に対し助成を行った。

No.	企業名	テーマ名
1	トクソー技研(株)	気道内の分泌物を自動的に吸引排出する「気道粘液除去装置」の研究開発
2	(株)AKシステム	薬液の注入／抽出作業をアシストする装置の実用化研究開発
3	(株)キューメイ研究所	試薬特性を活かした簡易免疫ラテックス測定装置の開発
4	(株)トライテック	内視鏡洗浄カバーの開発
5	(株)ホックス	上市を見据えたパルスオキシメータの製品開発並びに製品認証に向けた調査研究

5 専門家派遣事業

(1) 大分県医療機器開発コーディネータ派遣

機器開発から販売までの各分野の専門家をコーディネータとして委嘱し、会員企業の参入ステージに応じたコーディネータを派遣し、医療機器産業への参入をハンズオン支援を行った。

○池田 喜一 氏 (元(独)産業技術総合研究所産学官連携推進部門コーディネータ)

○吉田 安幸 氏 (元旭化成(株)専務取締役)

○株式会社アステム

(2) 薬事アドバイザー派遣

医薬品医療機器等法に係る専門家（コンサルタント）を派遣又は相談会を開催し、薬事に関する法規制等への対応を支援した。

【派遣した専門家】

(1) IS013485・CEマーキング取得支援

株式会社ビームス 代表取締役 中田 一成 氏

(2) 医療機器ビジネス・参入戦略策定支援

株式会社メディカルラボパートナーズ 代表取締役 清水 美雪 氏

(3) 介護・福祉機器事業戦略策定支援

特定非営利活動法人医工連携推進機構 客員研究員 吉川 典子 氏

6 販路開拓・拡大事業

(1) 県産新医療・福祉機器等普及促進補助事業

医療・福祉機関が会員中小企業の新製品等を導入する経費に対し助成を行った。

対象者：県内の医療・福祉施設7機関
登録機器：10機種

(2) 産学連携海外販路開拓支援事業

会員企業が海外での販路開拓や事業展開を目指し、海外の医療従事者を県内に招聘し研修等を行う際に関係機関での受入等を支援した。

(3) 販路開拓支援事業

県内企業が開発した新機器等の販路開拓のため、展示会等への出展料等に対し助成を行った。

No.	企業名	出展展示会
1	日本ヒューマンメディック(株)	日本整形外科学会学術総会
2	(株)エイビス	インテックス大阪
3	シェルエレクトロニクス(株)	リハ工学カンファレンスin神戸/i-CREATE2017
4	(株)ブライテック	国際福祉機器展
5	(株)AKシステム	国際福祉機器展、西日本国際福祉機器展
6	(有)大分サーバー	国際福祉機器展
7	(株)キューメイ研究所	MEDICA2017
8	トクソー技研(株)	MEDICA2017

7 HALツーリズム推進事業

(1) HALF IT®ツーリズム海外展開支援事業

HALF IT®ツーリズムを海外の医療関係者に周知を図るため、関係機関に事業PRを行うとともにWebを用いた情報発信を行った。

8 専門部会

(1) 看護関連機器開発部会

「我慢させない看護」の実現に向けて看護関連機器開発を促進するため、看護関連機器開発部会（部会長：大分県立看護科学大学 影山教授）を開催するとともに、関連事業を実施した。

●部会の開催

看護関連機器開発部会の事業計画及び部会委員による看護関連機器開発を報告するため、部会を開催した。

開催日：平成29年8月31日（木）13：00～14：00

場 所：ホルトホール大分 410会議室

●看護とものづくり連携セミナー（再掲）

看護関連機器開発に向けた機運醸成のため、看護機器の開発事例紹介や医療現場の機器開発ニーズ等に関するセミナーを開催した。

開催日：平成29年8月31日（木）14：30～16：30

場 所：ホルトホール大分 201・202会議室

(2) 介護・福祉関連機器開発部会

東九州メディカルバレー構想の更なる推進に向けて、県内の産学官が連携した高齢者や障がい者の自立支援及び介護現場の生産性向上に貢献する機器開発を促進するため、新たに介護・福祉関連機器開発部会を設置し、設立会合及び関連事業を実施した。

●部会の開催

介護・福祉関連機器開発部会を新たに設置するにあたり、設立会合を開催し、部会長の選任（部会長：大分大学 今戸教授）を行った。また各委員から福祉現場の現状報告や大学での研究開発事例等の紹介発表等を行った。

開催日：平成30年2月22日（木）15：00～16：30

場 所：大分県社会福祉介護研修センター 3階小ホール

●「おおいた産介護福祉機器」展示コーナーの開設

会員企業の開発・製造する介護・福祉機器について、県内の介護福祉施設への導入促進を図るため、大分県社会福祉介護研修センターの福祉用具展示場内に「おおいた産介護福祉機器」展示コーナーを新たに開設した。

「おおいた産介護福祉機器」展示コーナー開設式

開催日：平成30年2月22日（木）14：00～14：30

場 所：大分県社会福祉介護研修センター 1階 福祉用具展示場

●介護・福祉ニーズ探索交流会 in太陽の家（再掲）

介護・福祉関連機器開発に向けた現場ニーズ収集のため、社会福祉法人太陽の家の協力の下、介護・福祉ニーズ探索交流会を開催した。

開催日：平成30年3月2日（金） 14：00～17：00

場 所：社会福祉法人太陽の家 さくら・ひまわりホール

その他

○大分大学医学部臨床医工学センターが実施する「国産医療機器創出促進基盤整備等事業」や大分県医療介護ロボ・HAL®研究会、一般社団法人九州先端リハビリテーション・ケアクラスター推進機構等関係団体との連携を行った。

○「医療関連機器ビジネスマッチング会」の開催にあたっては、宮崎県や福岡県等と連携して実施した。

平成29年度収支決算

自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日

1 収入の部

(単位:円)

科目	当初予算額 ①	決算額 ②	差引額 ②-①	備考
1 負担金収入	39,799,000	37,210,000	△ 2,589,000	県負担金の減
2 雑収入		195	195	
当期収入合計	39,799,000	37,210,195	△ 2,588,805	
前期繰越金	8,994,258	8,994,258	0	
収入総合計(A)	48,793,258	46,204,453	△ 2,588,805	

2 支出の部

(単位:円)

科目	当初予算額 ①	決算額 ②	差引額 ②-①	備考
1 協議会運営	531,360	1,307,303	775,943	
旅費	126,000	117,220	△ 8,780	
食糧費	3,000	73,382	70,382	
その他需用費	60,000	679,799	619,799	コーディネータ新規採用に係る関連備品等購入による増
役務費	160,000	263,172	103,172	会議議事録作成・補助事業周知に係る郵送費による増
使用料及び賃借料	42,360	4,730	△ 37,630	
負担金	140,000	169,000	29,000	
2 医療産業参入促進セミナー等	2,255,258	2,689,447	434,189	
報償費	300,000	243,200	△ 56,800	
旅費	189,000	585,075	396,075	セミナー回数増加に伴う講師旅費による増
食糧費	200,000	449,642	249,642	構想推進大会での来賓・交流会参加者増加による増
その他需用費	409,186	469,260	60,074	
使用料及び賃借料	657,072	442,270	△ 214,802	セミナー会場使用料の節減
負担金	500,000	500,000	0	
3 医療・福祉機器等機器開発ワーキング	8,404,040	6,609,816	△ 1,794,224	
報償費	588,000	560,000	△ 28,000	
旅費	428,400	135,950	△ 292,450	臨床ニーズブラッシュアップ会議の開催回数減少による減
委託料	3,500,000	3,700,000	200,000	医療関連機器開発ビジネスマッチング会でのセミナー開催による増
使用料及び賃借料	187,640	820,492	632,852	WG活動支援のためのレンタカー使用増加による増
補助金	3,700,000	1,393,374	△ 2,306,626	医療関連規格取得支援事業費補助金等の実績減
4 研究開発補助事業	21,027,500	18,591,756	△ 2,435,744	
報償費	24,900	16,600	△ 8,300	
旅費	2,600	2,460	△ 140	
補助金	21,000,000	18,572,696	△ 2,427,304	研究開発補助金等の実績減
5 専門家派遣事業	1,334,480	1,055,064	△ 279,416	
報償費	950,000	633,000	△ 317,000	専門家派遣件数の実績減
旅費	252,000	330,064	78,064	
使用料及び賃借料	132,480	92,000	△ 40,480	
6 販路開拓・拡大事業	14,420,480	6,324,334	△ 8,096,146	
その他需用費	0	167,518	167,518	「おおいた産介護福祉機器」コーナー新設のため関連物品購入による増
使用料及び賃借料	0	43,200	43,200	
補助金	14,420,480	6,113,616	△ 8,306,864	県産新医療・福祉機器導入促進事業費補助金の実績減
7 HALFITツーリズム推進事業	820,140	0	△ 820,140	
旅費	617,640	0	△ 617,640	海外展示会等への出展を取りやめたことによる減
負担金	202,500	0	△ 202,500	
当期支出合計(B)	48,793,258	36,577,720	△ 12,215,538	
当期支出差額(A)-(B)	0	9,626,733	9,626,733	